

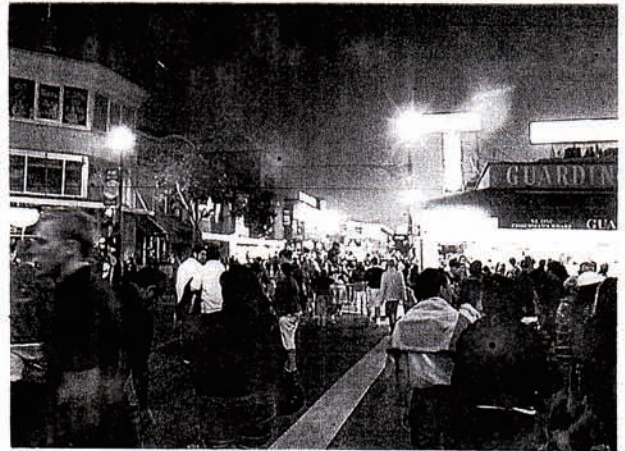
英語を楽しく

☆ 夏、San Francisco は一日に4つの季節。夏も暖房の街。

夏、といっても7、8月、朝5時頃までは冬のように寒い。太陽が徐々に昇るに従って暖かくなり、11時頃には夏の感じがする。暑いけれど汗のかかないあっさりした気持ちの良い暑さである。午後5時頃になるとその暑さもなくなり、涼しさを感じるが、夜7時頃になると（とは言っても随分外は明るいのですが）肌寒さを感じる。それ以降はますます寒くなり、外ではとても半袖の服ではしのげません。街を歩いていると、長袖の服や冬服を着た人をよく見かけました。きっと夜の寒さ対策でしょう。

一日の中で、半袖の人、長袖の人、冬服の人、様々な服装の人がたくさん交差する San Francisco の街は、行き交う人々をながめるだけで楽しくなってしまう。だれもが思い思いに生活しているようで。

夕方、レストランに入って食事を終えてから8時ごろ外に出ると、身を切るように寒かったのを覚えています。丁度バス停でバスを待っているスペインの女性も震えていました。「夜がこんなに寒いなんて知らなかった。」
と言いながら。



San Francisco の屋上レストランに7時頃食事に行ったとき、注文し（サンフランシスコ フィッシャーマンズ・ワーフ）た料理を待っている間、寒さで震え
7. 4. 2013
いました。でも、席に着いて15分程経った頃、なんだか頭の上が暖かくなったのです。そこで、上を見ると何とあかーくなった細長い暖房器具が客に上から向けられていました。なるほど、San Francisco の夜は寒い。お客さんを大切に
する意味でも暖房して当然なのだなぁと感心してしまいました。

ホテルに帰って部屋に入ると何か「シュー」と音がしていました。実は部屋の暖房機の音でした。San Francisco 夏の暖房での初体験。夜は、お陰でゆっくりと暖かく寝ることができました。